

## Anti human EAR2 mouse monoclonal antibody

EAR2: V-erbA related orphan nuclear receptor

製品コード PP-N2025-00

Clone No. N2025

Lot. A-1

濃度 1mg/mL

容量 100 $\mu$ L

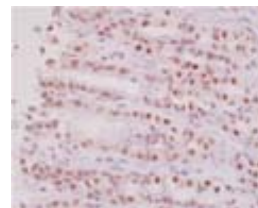
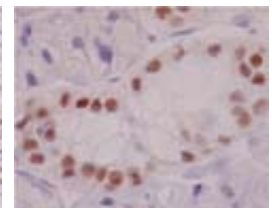
Ig class G2a

Nomenclature NR2F6

Genbank X12794

**由来** ヒトEAR2 (13-44 aa) の Baculovirus 発現物を免疫した BALB/c マウスの脾臓細胞と、マウスミエローマ細胞 (NS-1) を融合して得たハイブリドーマを、BALB/c マウスに接種して得られた腹水。

**特異性** ヒトEAR2に特異的に反応する。ヒトCOUP-TF I, II には反応しない。マウスEAR2と交差反応しない。ラットEAR2と交差反応する。

**精製法** 硫酸塩析法**溶媒** 生理的食塩水(防腐剤として0.1% NaN<sub>3</sub>添加)**Application** 使用濃度は実験にあわせて至適化が必要です。**Western Blot** 可  
参考使用濃度 1 $\mu$ g/mL**非還元 Western Blot** 可  
参考使用濃度 1 $\mu$ g/mL**ELISA** 可  
参考使用濃度 0.2 $\mu$ g/mL (A450=1)**免疫沈降** 可  
参考使用濃度 適宜調製してください**Supershift Assay** 未検討  
参考使用濃度 -**クロマチン免疫沈降** 未検討  
参考使用濃度 -**免疫染色** 可  
参考使用濃度 10  $\mu$ g/mLラット  
胃上皮細胞  
パラフィン切片ラット  
唾液腺  
パラフィン切片

**保存方法** 1ヶ月程度の保存の場合は、2~8 $^{\circ}$ Cで保存可能です。長期保存の場合は、抗体を小分けした上で、-20 $^{\circ}$ C 以下での保存をお勧めします。また、凍結融解を繰り返すと、抗体が劣化し、本来の性能が得られない場合があるため、お避けください。

**参考文献**

**備考** 溶媒に含まれるNaN<sub>3</sub>は、鉛や銅と反応し爆発性化合物を形成する恐れがあります。廃棄の際には大量の水と一緒に希釈して廃棄してください。

FOR RESEARCH ONLY. NOT FOR USE IN HUMANS.

本製品は研究目的のみで使用することができます。人やそのほか動物の疾病診断、治療・予防に使用することはできません。研究目的以外で使用する場合は、あらかじめ弊社にご相談ください。

MADE IN JAPAN

Nov 16, 2016